

平成27年度冬季「奈良県省エネECOチャレンジ表彰」受賞者一覧【家庭部門】

賞名	氏名	市町村	削減率 (%)	具体的な取り組み及びPR事項
最優秀賞	ニシ カリ 西 かおり	生駒市	▲24.6	<ul style="list-style-type: none"> ①誰もいない部屋は電気をつけないことを徹底した。 ②使わない時はコンセントを元から抜いた。 ③そもそも暖房器具を出さないようにした。 ④便座の電気をつけず、カバーをすることで寒さ対策をした。 寒い日には登山にいき、体を動かしてあたためた。 ⑤蛍光灯をLEDに替えた。洗濯機も最新のものに替えると、すすぎの回数が減らせた。 ⑥「節電は1日にして成らず!」、家族の合言葉は「節電!」
優秀賞	イマシ マサヒロ 今西 真博	奈良市	▲51.7	<ul style="list-style-type: none"> ①寒い日以外は蓄熱暖房機の使用をやめた。 天気の良い日は自然の暖かさを利用し、夜は早めに雨戸を閉めて、室温の低下を抑えた。 ②勝手口の内側にロールスクリーンを設置し、冷気の侵入を抑えた。 ③我が家に合った節電（小さい子どもと高齢者がいる）スタイルを見出し、実行した。 ④節電意識を皆がもち、自分自身で節電できる箇所を探した。 ⑤職場、旅先（例：トイレ便座温度を節電モード）など、常に節電を意識して生活することを心掛けている。
優秀賞	カワベ リウコ 川辺 良子	斑鳩町	▲38.4	<ul style="list-style-type: none"> ①全ての窓ガラスにエアークラップ（梱包用の気泡緩衝材）を貼り付け、寒さ対策をした。 ②電気ストーブやエアコンではなく、ガスカートリッジ式のストーブで足元だけ温めた。 ③電気ポットで余ったお湯を、魔法瓶に移して保温しておく。 ④家族が一室（食事や寝室）に集まり、家族一緒に過ごす時間を楽しみながら節電に取り組んだ。
優秀賞	ハヤシ ヒデコ 林 秀子	吉野町	▲11.9	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームこたつに湯たんぽを入れ、電気の使用を調整した。 ②石油ストーブで料理をした。焦げ付かず美味しくできる。 ③窓からの冷気を遮断するため、カーテンを二重にし、新聞紙やビニール等で目ばりをした。 ④園芸を楽しむことで身体が温かくなり、省エネ効果につながる。

※削減率→対前年比(12月～1月)の電気使用量の削減率